

2022年11月1日(火)

株式会社 unerry(東証グロース・証券コード:5034)

#### 【報道関係各位】

# unerry 代表取締役社長 CEO 内山英俊が 「EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2022 ジャパン」Exceptional Growth 部門を受賞

リアル行動データプラットフォーム「Beacon Bank」を運営する株式会社 unerry(東京都港区、以下 unerry)の代表取締役社長 CEO 内山 英俊は、EY Japan が主催する起業家表彰制度「EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2022 ジャパン」(以下、EOY 2022 Japan)にて「Exceptional Growth 部門」を受賞いたしました。また、2022 年度の日本代表候補のアントレプレナーとして最終選考に臨みます。選考結果は本年 12 月上旬に発表予定であり、日本代表は 2023 年 6 月の世界大会に参加します。

unerry代表取締役CEO内山英俊が EY アントレプレナー・ オブ・ザ・イヤー 2022 ジャパン Exceptional Growth部門を受賞



EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーは、世界に先駆け創設された、グローバルな賞です。世界約60カ国、145を超える都市における国と地域において、ダイナミックなビジネスを確立し、成長を続けるアントレプレナーをグローバルな表彰制度を通じてたたえています。日本においては、「EOY Japan」として、日本のアントレプレナーを国際的なステージに輩出する表彰制度として2001年より実施されており、本年で22年目を迎えます。成長の可能性を持つアントレプレナーの活動を奨励し、先見性、リーダーシップ、功績により人々に希望を与えるアントレプレナーの貢献をたたえていることが特徴です。

EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2022 日本代表候補者

https://www.ey.com/ja\_jp/news/2022/11/ey-japan-news-release-2022-11-01-03



この度 unerry 代表内山が受賞いたしました「Exceptional Growth 部門」は以下の観点を満たすアントレプレナー像を選出するものです。

- ・事業を成功に導き、注目度が高まっている、あるいは注目されている存在。
- ・後進のアントレプレナーのロールモデルとなる存在。
- ・海外で一定の影響力を有し、さらなる展開・拡大を予定している。
- ・革新的な技術やビジネスモデルによって事業を展開し、成果を挙げている。
- ・著しい成長を遂げた、あるいは成長途上であり、今後さらなる成長が期待されるアントレプレナー。

## 株式会社 unerry 代表取締役社長 CEO 内山英俊のコメント

「Exceptional Growth 部門」での受賞を大変誇りに思います。起業を志した最大の契機は、ミシガン大学大学院留学中、Google 創業者をはじめとした数多くの起業家と出会い、「たった一人のエンジニアが世界を変えられる時代に生きている」と肌で感じ、見える景色が変わったことでした。unerry は、現実世界をデータ化することでリアルとデジタルが融合した「心地よい未来」の実現を目指しています。「unerry, everywhere」という言葉をスローガンに、世の中にとって欠かせない社会インフラとなりグローバルでもその存在感を示すため、私自身、日本発のアントレプレナーとして前例なきチャレンジを続けてまいります。

## 内山英俊プロフィール:

ミシガン大学大学院コンピュータサイエンス修士。戦略コンサルティング会社、モバイルコンテンツ会社を経て 2015 年 unerry を創業。2022 年東証グロース市場に上場。位置情報業界団体 LBMA Japan 理事として業界発展に 取組む。また現役ビジネスリーダーとして、グロービス経営大学院で 12 年間教員を務めた。

\*本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\*本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

#### くお問い合わせ>

株式会社 unerry 広報 内山、柳田

information@unerry.co.jp

## ■株式会社 unerry について(<u>https://www.unerry.co.jp</u>)

リアル行動データプラットフォーム「Beacon Bank(<a href="https://www.beaconbank.jp/">https://www.beaconbank.jp/</a>)」を運営する 2015 年創業のデータカンパニーです。GPS およびビーコン技術を活用し、スマートフォンアプリから取得する月間 300 億件超、約 1.1 億 ID の屋内外の人流ビッグデータを AI で解析。「心地よい未来を、データとつくる。」というミッションを掲げ、OMO マーケティング支援や、スマートシティの実現に向けた事業等を展開しています。